

CASBEE® 広島

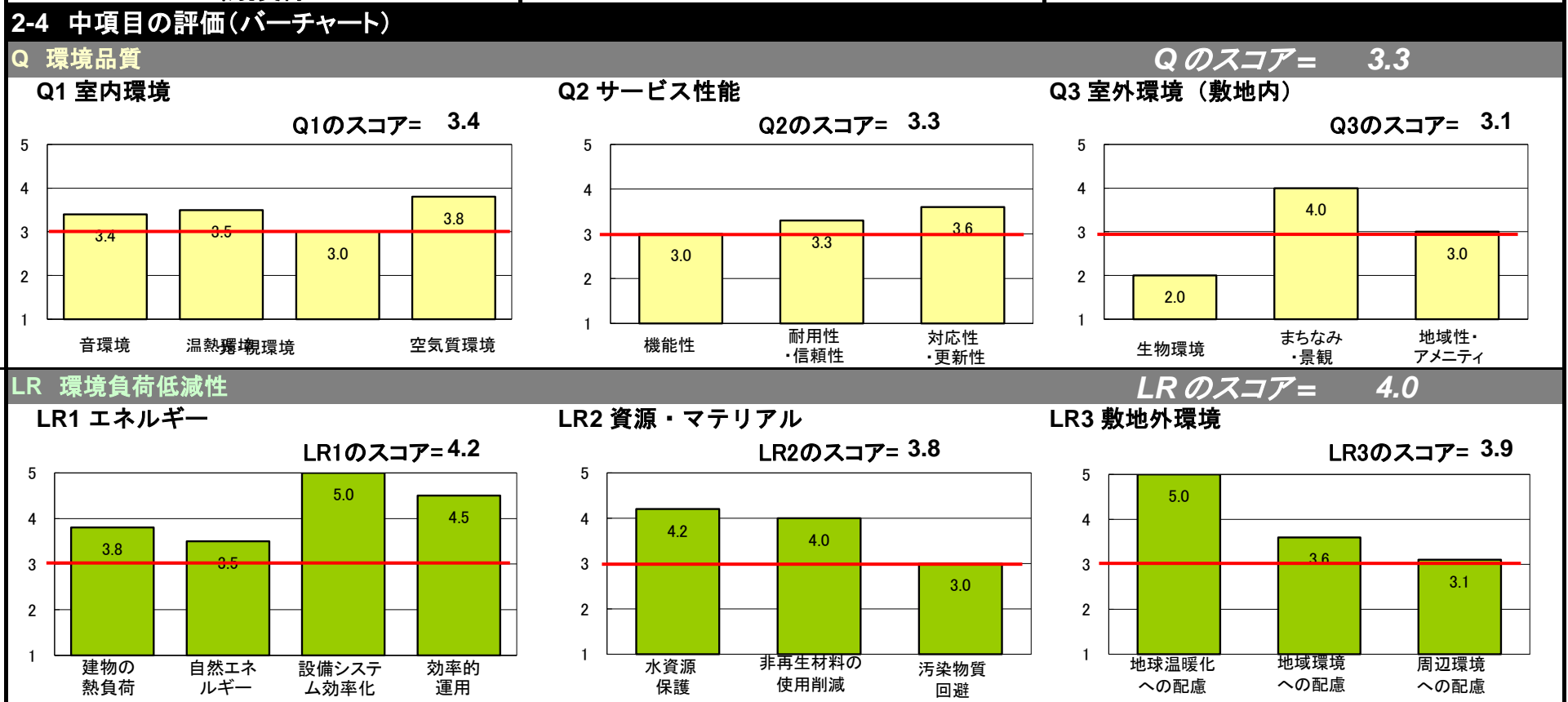
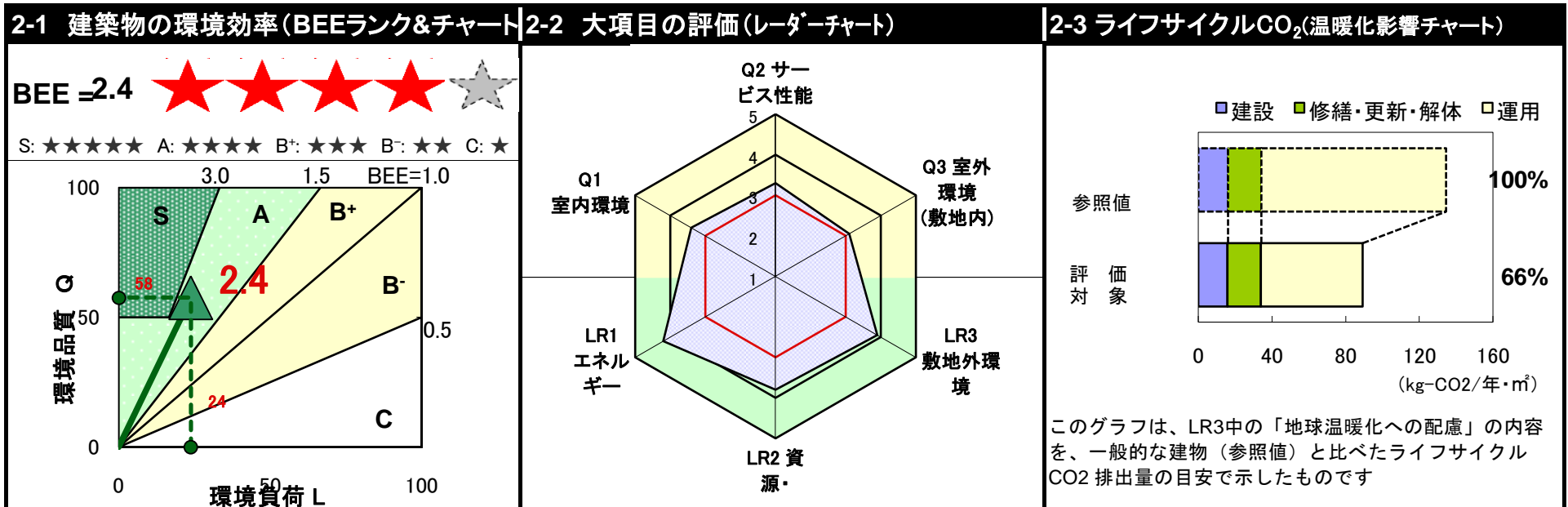
(2010年ver. 1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イズミ新本社	階数	地上6階、地下1階
建設地	広島市東区二葉の里3丁目79-2	構造	SRC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	800 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所, 物販店, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年11月 予定	評価の実施日	2012年9月18日
敷地面積	8,336 m ²	作成者	土井原 毅
建築面積	3,839 m ²	確認日	
延床面積	26,231 m ²	確認者	



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.3	スコア = 2.6	スコア = 3.2
設計の計画上特段に配慮した事項 Low-Eガラスの採用、外壁の断熱により高い外皮性能を確保。/太陽光発電の採用、トップライト・アトリウムを利用した自然換気・自然採光を行う。/50kWの太陽光パネルでの発電により、高いERRを達成。/BEMS採用により設備機器を効率的に運用・管理。/雨水利用システムや節水器具の導入、リサイクル材の採用。/設備の効率運用や自然エネルギー利用により、運用段階でのCO ₂ 排出量を低減。	設計の計画上特段に配慮した事項 外構緑地・屋上緑化計画により、敷地の温熱環境へ配慮。/駐車場、駐輪場の数を附置義務台数より大幅に多く確保し、交通負荷抑制に対応。	設計の計画上特段に配慮した事項 外装材、内装材ともに、耐用性の高いものを採用。/配線・配管・ダクトルート他、設備スペースを確保し更新性に配慮。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される